

# モーツァルト室内管弦楽団 第176回定期演奏会

〈モーツァルトとハイドン〉その11



ピアノ◆松村英臣



ソプラノ◆櫻井孝子

ハイドン

交響曲 第83番 ト短調 Hob.I-83《めんどり》

モーツァルト

ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K.488

ピアノ独奏付き演奏会用アリア  
《どうしてあなたを忘れられよう》K.505

交響曲 第40番 ト短調 K.550



指揮◆門 良一

指揮者とオーケストラによる演奏付き解説有

W.A.Mozart & J.Haydn



2017.

6/17 (土) いずみホール

2:00pm開演(1:30pm開場) 入場料: 一般 ¥5,000(指定席)/学生 ¥1,000(当日限定数発売) \*小学生よりご入場いただけます。

JR環状線「大阪城公園」駅から3分、「京橋」駅から7分、  
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から5分。  
有料駐車場完備

主催◆NPO法人モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.moz-kam.org> 協賛◆いずみホール[一般財団法人住友生命福祉文化財団]

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504 e-mail:artists@gol.com

〒530-0041大阪市北区天神橋3-3-3南森町イシカワビル507 URL:<http://www.oaa1985.com/>

前売

大阪アーティスト協会 050-5510-9645(電話受付:平日10~18時) いずみホール 06-6944-1188 チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:322-429)

ローソンチケット 0570-084-005(Lコード:51340)

\*大阪アーティスト協会は世界の子どもたちの未来を支える大阪ユニセフ協会に賛同し、コンサート会場で募金活動等を行いながら、音楽を通して少しでも社会に貢献できるような取り組みを続けています。皆様のあたたかいご支援ご協力をお願い申し上げます。





## モーツァルトとハイドンの交響曲

モーツァルトは弦楽四重奏曲と交響曲の分野においてハイドンの作品をモデルとした。「ハイドン・セット」の名で知られる6曲の弦楽四重奏曲集の出版の際には、「私が弦楽四重奏曲の作り方を教わったのはハイドンからだ」と明記した丁寧な献呈文を付けている。交響曲においてはモーツァルトからそのような表明はないけれども、ハイドンの影響下に作られたと思われる作品がいくつかある。交響曲第36番《リンツ》と、今日その第2曲が演奏される《3大交響曲》である。《3大交響曲》のモデルはハイドンの6曲からなる《パリ交響曲》の最初の3曲であり、その3曲の調性がハ長調、ト短調、変ホ長調となっていて、モーツァルトの《3大交響曲》のそれぞれの調性と順序は違うけれども一致しているのである。この演奏会ではハイドンの《パリ交響曲》の第2曲、交響曲第83番ト短調とモーツァルトの《3大交響曲》の第2曲、交響曲第40番ト短調とを、演奏をまじえた解説によって比較する試みを行う。

### モーツァルト室内管弦楽団／指揮：門 良一 *Mozart-Kammerorchester Japan / Ryoichi Kado, Dirigent*

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、45年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで、90年からは大阪いずみホールを本拠として年6回の定期演奏会を開催。また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に17回を数えている。海外では88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス(85、87年)、シプリアン・カツァリス(93、94年)、ペーター・ダム(83、86、88、98、00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル(86年)、ライナー・キュッヒル(90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲等で活発に協演する他、93年には堺シティオペラの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。07～09年全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、09～11年全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を開催。また10年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を、15年からは〈創立45周年シリーズ〉を開始している。2017年1月にNPO法人となる。

### 松村英臣●ピアノ *Hideomi Matsumura, Klavier*

大阪音楽大学附属高等学校を経て大阪音楽大学卒業、同大学院修了。八十六年デビューリサイタル開催。九〇年には第9回チャイコフスキー国際コンクールにてディプロマ授与、併せてベスト・パッサ演奏者賞受賞、モスクワ音楽院大ホールでの記念演奏会に出演。以後、その活躍は目覚しく、各地でソリストとして活動を展開し、松原市文化賞、大阪府民劇場奨励賞、東京ベストサンクス賞、大阪文化祭賞奨励賞(4回)、文化庁芸術祭優秀賞等受賞。また、数多くのオーケストラとの協演の他、昨年秋にはモーツァルト室内管弦楽団を指揮。声楽や器楽の伴奏者としての信頼も厚く、あらゆるジャンルに順応しながら独自のピアノリズムの世界を築き上げている。ラジオやテレビ出演も数多い。CD「チャイコフスキー《四季》」、「松村英臣ロマンティックセレクション」をリリース。大阪音楽大学で後進の指導にあたる傍ら、全国各地で精力的な演奏活動を展開している。日本演奏連盟会員。

### 櫻井孝子●ソプラノ *Takako Sakurai, Sopran*

大阪芸術大学演奏学科声楽専攻卒業。これまでに内外のオーケストラとの共演の他、各種コンサートに多数出演。オペラでは「マリツァ」マリツァ、「こうもり」ロザリンデ、「メリー・ウイドウ」ハンナ・グラヴァリ、「カルメン」カルメン(全て日本語上演)等で活躍する。また近年では、チャリティコンサートに積極的に出演する他、「つぼみコンサート」と題し義援金付き弾き歌いコンサートを企画演奏する等、多彩な活動を展開している。第26回イタリア声楽コンクール金賞、第18回飯塚新人音楽コンクール第2位受賞。枚方演奏家協会、ミュージックアートステーション所属。